

【特別寄稿・投稿】

【特別寄稿・投稿】

会報KANASA・創刊30周年に寄せて ■ けやき会加盟の諸団体様よりのお言葉

会報KANASA・創刊30周年に寄せて

■ けやき会加盟の諸団体様よりのお言葉



◆ 秋田高校東京同窓会

金砂会、響きの良い名前である。秋田工業高校の同窓会名称と知ったのは社会人になって暫くしてからである。秋田に帰省して実家で会報を目にした。私の父が昭和13年3月機械科卒、その縁である。数年前に父の卒業アルバムを東京秋工会ホームページに掲載して戴き、感謝に堪えない。

学校を最初に訪問したのは昭和55年、ラグビー部員を勧誘する為である。勤務先である三菱重工(株)相模原製作所のラグビー部が本格的にチーム強化することを決め、強豪校である秋田工業高校ラグビー部員の採用挨拶である。ラグビー部OB会重鎮の高桑栄一先生と私の叔母が幼馴染であった伝手を頼って先生の自宅を訪問。先生は昭和46年に退官していたが学校へ話をつないで頂いた。お陰様で伊藤栄君(昭和56年機械科卒)を採用できた。高桑先生のあだ名が「ゲフ」というのは、ラグビーの不惑倶楽部で仲良くして頂いている石山貴志夫先輩(昭和40年3月建築科卒)からお聴きした。

ジャパンラグビーリーグワン、今シーズンから日本ラグビートップリーグを組織改編して始まったが、そのデビジョン2に三菱重工相模原ダイナボアーズが所属している。近鉄、釜石マツダ、ホンダに勝ち、開幕4連勝。チームには秋工ラグビー部出身の奈良望君(法大卒)がいる。ヘッド・コーチの信頼が厚く、外国人選手が多い中で全試合に出場し、今年の活躍が期待されている。



奈良氏イン・プレー

記：けやき会 会長 佐藤 貞直 (昭和42年秋田高校卒)

◆ 東京一交会(秋田中央高校同窓会)

KANASA第30号発刊おめでとうございます。貴会の広報紙KANASAは、HPからも閲覧することができ、また内容も多岐にわたって充実していて、同窓会活動が活発であることの証左だと日々感じています。

私が貴会の皆さんと交流を始めたきっかけは、けやき会主催の高尾山ハイキングでした。下山後に立ち寄った蕎麦店「紅葉屋」でのお疲れ交流会、お酒付きで名物とろろ蕎麦を食し、満足度100%でした。お開きの号令がかかるも、お座敷の隅っこに陣取った面々の中に吸い込まれ、燗酒を飲みながら懇談。その後けやき会や秋高連に参加することとなり、秋田出身の集まりは酒好きが多いことを実感。私がお付き合いできるのは唯一飲み会だけ。飲酒歴50年のベテランです(笑)。豪傑揃いの皆さん、飲酒による記憶喪失に陥らない程度にお酒を楽しみましょう。東京秋工会の今後益々のご発展を祈念いたします。

記：けやき会副会長 水沢 誠一

◆ 新屋郷土会 紹介

けやき会構成メンバー9団体の中では異色の新屋郷土会は、秋田市新屋町出身者の首都圏在住者の集いです。このため東京秋工会をはじめ市内各高校出身者が在籍している会です。現在会員数約90名。設立は昭和51年7月、今年で47年となります。尚、現8代目大塚廉造会長は秋工出身です。

活動は、会員の交流・親睦と郷里新屋町の発展に寄与する事を目的に新春懇親会、暑気払いそして地元の新屋振興会との交流、新屋大川散歩道桜木の贈呈、地元小中学校との支援交流など少しでも地元の力になるべく、郷土愛を引き継いでいく活動を行っており、けやき会への参加も重要な活動の一環であります。

特に新春懇親会は総会を兼ね毎年1月下旬に開催し、秋田市長や地元市議会議員はじめ新屋町諸団体の来賓等を含め60数名が参加し、賑々しく秋田弁(新屋弁?)飛び交うなか、会員のアコーディオン演奏で日新小中時代の校歌、応援歌、地元新屋の民謡そして地元特産品の抽選等々大いに盛り上がります。更に秋田県出身の芸能、著名人を招いての講演もあり、



前から2列目中央:大塚会長
その左:ゲスト浅利香津代氏

当会渾身の一大イベントです。「へばな〜」「元気で〜またね」と来年の再会を約し名残惜しみつつ散会になります。何処も同じ状況でしょうがコロナ禍によりこの2年間、これら諸活動が全て中止となっているのが本当に悔しく、早く巣籠り生活から抜け出せるよう心から願っています。

記：新屋郷土会理事 鶴巻 勝利

◆ 金足農業高校東京同窓会

戦後の日本の工業の発展を支えたのは工業高校出身者、わけでも秋工OBの活躍は素晴らしいものがあることが会報からも見ることが出来る。米どころ秋田の金農との接点は少ないもののその秋工との共通点は、当金農の前身となるべく明治28年に「秋田県簡易農業学校」が開校された。その後同34年に実習地不足で当時の旭川村(現保戸野金砂)に移転を計画されたが、諸般の事情で計画変更になり同時に「県立工業学校(現秋田工)」が設立された経緯の記録がある。しかし農業学校は大曲農となり、昭和3年に金農が開校している。当金足農東京同窓会は学校の性格上地域の長男が多く、地元根ざして在京の会員数は少ない。現在全会員数は450名で毎年10月に総会を開催しており、平成30年の野球部甲子園準優勝の総会はたいへんな盛り上がりであった。活動としては新聞を発行して同窓の結束を高めている。秋工といえば在学中からラグビーであるが、最近関西勢に押されており寂しく思っているがさらなる高みと貴会の益々の発展を祈っております。



金足農業高校東京総会

記：副会長 菊地 隼二郎

◆ あげまき会(秋田北高校同窓会)東京支部

「KANASA」第30号の発行おめでとうございます。同窓会の会報を一年に一度発行して、それを30年間続けてこられている事に敬意を表します。

思い返せば貴校と北高は旭川を挟んで一番近い距離に位置しており、私達は親しみを込めて「川向うの高校」と呼んでおりました。校外授業で旭川の土手を歩いていると、貴校の校舎の窓のあちこちから北高生の集団に手を振ってくれる姿があったそうです。

なんとどのどかで楽しい光景でしょう。その時窓から手を振って下さった方が、東京秋工会の会員の中にいらっしゃるかもしれません。時を超えてお礼を申し上げたい気持ちです。東京秋工会の活動を側で拝見しているとその人材の豊かさと結束の強さに敬服する時が多々あります。貴同窓会はこれからも益々発展していける事でしょう、微力ながら応援致しております。最後に又あの時の様にこれからも「あげまき会東京支部」に手を振って下さることをお願い申し上げます。



喜寿を迎えた皆様(令和元年)

記：支部長 横川 益子

◆ 東京南翔会(秋田南高校同窓会)

「会報KANASA」30号の発行おめでとうございます。私達東京南翔会は、首都圏を中心に会員約1,100名の秋田南高校の同窓会です。私は秋田を出て埼玉で小学校の教員になり、子育ても一段落した頃、同級会の誘いがあり東京南翔会の活動に参加してから20年になります。5期生だけの活動もあり、「元氣」をもらっています。そして、先輩の榎利美さん(写真中央、東京南翔会第3代会長)が、けやき会(秋田市内の高校同窓会会員・郷土会会員)会長の時にお声を掛けて頂いて以来、けやき会の活動にも参加させて頂いています。



懇親会 2019.9.12

私は秋工との直接の関わりはありませんが、けやき会の活動と一緒に参加したり、「会報KANASA」拝読の機会の中で、故郷秋田の応援、首都圏で活躍の「金砂健児」皆様の人生に思いを馳せて、感動を頂いています。私もさやかに活動を続けていけたら…と思うこの頃です。東京秋工会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

記：秋田南高校5期卒 山内 加代子



給排水、衛生、空調、設備 設計、施工、設備

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健

代表取締役 太田 博之 (昭和56年 工業化学科卒)
専務取締役 仙北谷 聡 (平成4年 機械科卒)

秋田市仁井田本町5-1-62
TEL: 018(839)6516
FAX: 018(839)6513
http://www.hokusei-kogyo.com

Cofty <http://sousai-support.com/index.html>

「ご家族安心サポート」のコフティ

コフティ株式会社

インフルエンザ・コロナ等の目に触れないウイルスに備えて「安心・安全」「環境に優しい」商品をご紹介します。

■ 新型コロナウイルス対策に！
シアグリーン 噴霧器本体

その他、
コロナウイルス感染対策衛生用品を取り揃えています。

※ 詳細は右上アドレスのサイトでご覧ください。
※ お問い合わせはこちらへ 0120-944-616

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提1373-6
TEL 090-7841-0533
FAX 0463-67-7266
e-mail info@cofty.net

代表取締役 菅原 秀樹 昭和54年機械科卒

リフォームのワイケー

〒198-0036 東京都青梅市河辺町4-11-12
TEL: 090-6473-1846
FAX: 0428-27-1409
e-mail: yykk2004@t-net.ne.jp

昭和42年機械科卒 代表 大澤 隆夫

塗装&リフォーム 一何よりも本物を一